

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 6 月 15 日(2022.6.15)

【公開番号】特開 2021-69422(P2021-69422A)
 【公開日】令和 3 年 5 月 6 日(2021.5.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-021
 【出願番号】特願 2019-196024(P2019-196024)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 4 A

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 7 日(2022.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
始動領域と、

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、

前記有利状態に制御されるときに、前記保留記憶手段に前記有利状態に制御されることに
 対応した保留情報が記憶されていることを報知する報知演出を実行可能な報知演出実行手
 段と、

30

前記報知演出が実行されたことにより、特定表示を表示可能な特定表示手段と、

可変表示中の所定のタイミングにおいて前記特定表示を消去する消去演出を実行する消去
 演出実行手段と、

遊技媒体を貯留可能な貯留部と、

遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、

上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導通
 路形成部と、

前記誘導通路形成部の上面の一部を覆うように設けられたねじ落下制限部と、

を備え、

前記払出部から払出された遊技媒体を用いて遊技が可能であり、該遊技媒体が前記始動領
 域に進入したことに基づいて前記報知演出を実行可能であり、

40

前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該ね
 じ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限部
 上に滞留可能に構成されている、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 6 】

(A) の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
始動領域と、

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、

前記有利状態に制御されるときに、前記保留記憶手段に前記有利状態に制御されることに
対応した保留情報が記憶されていることを報知する報知演出を実行可能な報知演出実行手
段と、

前記報知演出が実行されたことにより、特定表示を表示可能な特定表示手段と、

可変表示中の所定のタイミングにおいて前記特定表示を消去する消去演出を実行する消去
演出実行手段と、

遊技媒体を貯留可能な貯留部と、

遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、

上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導通
路形成部と、

前記誘導通路形成部の上面の一部を覆うように設けられたねじ落下制限部と、

を備え、

前記払出部から払出された遊技媒体を用いて遊技が可能であり、該遊技媒体が前記始動領
域に進入したことに基づいて前記報知演出を実行可能であり、

前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該ね
じ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限部
上に滞留可能に構成されている、

ことを特徴としている。

(1) の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態、小当り遊技状態）に制御可能な
遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1 ）であって、

遊技媒体（例えば、遊技球 P ）を貯留可能な貯留部（例えば、球タンク形成部 2 0 1 ）と

、

遊技媒体を払出すことが可能な払出部（例えば、払出装置 2 0 0 ）と、

上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路（例えば、第 1 誘
導通路や第 2 誘導通路）を形成する誘導通路形成部（例えば、第 1 誘導通路形成部 2 0 2
や第 2 誘導通路形成部 2 0 4 ）と、

前記誘導通路形成部の上面の一部を覆うように設けられたカバー部（例えば、第 1 カバー
体 3 1 0、第 2 カバー体 3 2 0、第 3 カバー体 3 3 0 ）と、

を備え、

前記カバー部に、該カバー部上に落下したねじ部材（例えば、ねじ部材 N 1 ~ N 6、N 1
1 ~ N 1 6 ）の前記誘導通路形成部への落下を制限するための所定制限部（例えば、長孔
3 1 6 A ~ 3 1 6 C、凹溝 3 2 6 A ~ 3 2 6 C、凹部 3 3 6 ）が設けられ（図 2 2、図 2
4 参照）、

前記誘導通路形成部に、該誘導通路形成部に落下したねじ部材の前記払出部への移動を制
限するための特定制限部（例えば、孔部 2 7 1 A ~ 2 7 1 H ）が複数設けられており（図
1 1、図 1 2、図 2 7 参照）、

前記所定制限部は、前記カバー部上に落下したねじ部材（例えば、ねじ部材 N 1 ~ N 6、
N 1 1 ~ N 1 6 ）を該カバー部上に滞留させることが可能な第 1 滞留部（例えば、長孔 3
1 6 A ~ 3 1 6 C ）と第 2 滞留部（例えば、凹溝 3 2 6 A ~ 3 2 6 C ）とを含み、

前記第 2 滞留部は、前記第 1 滞留部よりも前記払出部（例えば、払出装置 2 0 0 ）に近い
位置に設けられ、該第 1 滞留部よりも大きく（ $L 2 2 B > L 2 1$ ）、

さらに、

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段（例えば演出制御用保留
情報記憶領域）と、

前記有利状態に制御されるときに、前記保留記憶手段に前記有利状態に制御されることに
対応した保留情報が記憶されていることを報知する報知演出（例えば保留連報知）を実行
可能な報知演出実行手段（例えばステップ 010AKS004、ステップ 010AKS0
07 の処理を実行する演出制御用 CPU120）と、
前記報知演出が実行されたことにより、特定表示を表示可能な特定表示手段（例えばステ
ップ 010AKS007 の処理を実行する演出制御用 CPU120）と、
特定表示に対応した可変表示の所定タイミング（例えばタイミング TA、TB、または T
C）において、当該特定表示を消去する特定表示消去演出（例えば消去演出）を実行可能
な消去演出実行手段（例えばステップ 010AKS024、ステップ 010AKS025
の処理を実行する演出制御用 CPU120）と、を備え、
特定表示が表示されているときに、所定事象（例えば変動パターンコマンドの取りこぼし
や消去演出設定処理のエラー）が発生したことにより前記所定タイミングで当該特定表示
が消去されなかった場合、前記所定タイミングよりも後の特定タイミング（例えばタイミ
ング TD）で当該特定表示を消去する特別制御を実行可能である（例えばステップ 010
AKS045 の処理を実行可能である）
ことを特徴としている。
この特徴によれば、カバー部上に落下したねじ部材が誘導通路形成部内に落下することを
防止することができる。また、好適に報知演出を実行できる。

10

20

30

40

50